

## 令和 5 年度 事業計画（案）

---

世界の情勢を見ると、ロシアのウクライナ侵略は長期化し未だ解決の見通しはなく、また米国では利上げによる銀行破綻も顕在化し、そして日本周辺では中国の台湾侵攻問題や北朝鮮の核軍国化の懸念も大きくなって来ており、決して平和な社会環境とは言えない状況にある。

しかし日本経済における景気後退の最大の原因である新型コロナウイルスは、既に発生以来 3 年が過ぎ、今年 5 月 8 日には政府の感染症法上分類が 2 類から 5 類へ移行された。現在多くの飲食店やエンタメ興業・旅行などに課せられた規制・制限はほぼ解除され、多くのサービス・飲食産業は活況を取り戻し、訪日外国人も大分増えつつある。今年度の見通しとしては、街の賑わいは徐々に復活し、人手不足もあるなか不景気反動需要も加わりコロナ前を上回る勢いが予想される。

今年度当連合会としては、今年最大の「川崎宿起立 400 年」祝賀記念事業始め、山王祭・いいじゃんかわさき・合同イルミネーションなど恒例の各種イベントを支援しながら、地元商店街の賑わい創出・回遊性の向上に向けて、大型店及び単会各位のご協力のもと、積極的に事業を展開していく。

### 【事業方針】

今年度は、「コロナ前復興元年」として、若手中心による商店街活性化事業に注力し、下記 5 大事業を推進しく。

### 【事業計画】

#### ○商店街支援（情報提供）・・・主幹副会長及び理事

1. 情報発信事業・広告宣伝事業（情報発信）
  - ・ホームページ&LINE アカウントの活用、・広域商連ニュースの充実
2. 商店街支援事業（情報共有）
  - (1) 定例会の充実、(2) 視察研修会の実施、(3) 助成金制度の支援

#### ○街の賑わい造り（イベント開催）・・・主幹副会長及び理事

3. 商店街活性化事業の推進
  - (1) 受託業務による賑わい創出のイベントの開催（中心市街地活性化事業）
  - (2) 自主業務として地元イベントの継承（商店街課題解決対応事業）

#### ○その他会務・・・主幹専務理事及び理事

4. 政策提言事業（街づくり支援）
  - (1) 行政・議会との対話促進、(2) 市商連への提言、
  - (3) パブリックコメントへの提言
5. 地域団体と交流促進（地域連携）
  - (1) 川崎宿起立 400 年の支援 (2) 市商連・商工会議所との連携、
  - (3) 行政各部署との連携（各種パトロールなど）